

# 議会だより ひらいずみ

第179号

令和5年4月27日

定例会3月会議

## 東京から 移住しました!

山内 彩さんは、昨年の6月から町主催のスパルタキャンプに4回参加しました。今は平泉町に移住し、地域おこし協力隊の一員として、平泉町のIT化にとりくんでいます。(関連記事P18)



- 主な内容
- 議会3月会議
- 暮らしに活かせ 地域密着型予算…… 2
- 一般質問
- ここが聞きたい
- 8人の議員が町の考えを問う……… 9

平泉っていいな  
シリーズ12

議会だよりひらいずみ 179号 発行/平泉町議会 編集/議会広報編集特別委員会 平泉町平泉字志羅山45-2 TEL 0191-34-5595 HP <https://www.town.hiraizumi.iwate.jp>

シリーズ9  
頑張る人

## 通行者を癒す芝桜ロード

青木先一さん (平泉字志羅山)

平泉中学校の南側、町道中学校線は整備以来平泉駅、国道4号に繋がる道路として交通量が増えています。その中学校線の沿道に毎年4月、芝桜がかわいいピンクの花を咲かせます。

青木先一さんが河川敷の町民農園で育てた芝桜の移植を始めて5年になります。青木さんは、県立学校事務職を退職後、長年、世界遺産、そして観光の町として環境整備に当たっています。

一方で役場周辺の雑草の処理など、町としてもっと景観に配慮してほしいと願っています。

青木さんが一関農業高校在職中に見た写真に感銘して植え始め、根付いた芝桜は今年も桜の季節に散歩を楽しむ人、車の運転者を楽しませています。



### あとがき

3月からマスク着用が自己判断となり、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5月8日から5類へと引き下げられます。これから町内のイベントに活気が

戻ることが期待されます。しかし、コロナ禍の自粛生活や在宅勤務の増加で希薄になった人と人との繋がりはそのままです。人の波だけが戻ることには若干の戸惑いも感じます。少しずつでもコロナ禍前の

人との繋がりを取り戻せたらと思っています。  
氷室裕史

### 編集スタッフ

委員長	阿部圭一
副委員長	稲葉正
委員	升沢博子
委員	氷室裕史
委員	大友仁子

### 表紙の紹介

やりがいのある  
楽しいことばせ平泉で



単身の若者が入れる住居を

東京都出身の山内さんは、4年間の大学生活をドイツで過ごしました。帰国後は都内のIT企業に勤め、現在は平泉町に移住し、地域おこし協力隊の一員と

して日々奮闘しています。特にIT技術に精通しており、データのデジタル化によるペーパーレス化、アプリによるテキスト自動化などに取り組んでいます。平泉町の自然豊かで空気が澄み、静かなところがとても気に入っているそうです。休日には少量のお酒をたしなみ、冬には趣味のスノーボードを楽しんでいます。今は東北の行ったことのないところを巡ることも楽しみの一つだそうです。

町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

議会だよりは再生紙を使用しています

# 暮らしに活かせ 地域密着型予算

## 一般会計 歳入

令和5年度  
47.7億円

自主財源					依存財源		
8.0億円	6.1億円	3.2億円	2.9億円	3.5億円	21.6億円		2.3億円
町税	その他	その他	国庫支出金	県支出金	地方交付税		町債(借金)
7.9億円	5.2億円	3.1億円	3.0億円	3.5億円	21.1億円		2.7億円

令和4年度  
46.4億円

予算の詳細内容は、「広報ひらいずみ4月号」をご覧ください。



## 一般会計 歳出

令和5年度  
47.7億円

7.1億円	11.4億円	4.2億円	3.2億円	5.3億円	7.1億円	4.5億円	4.9億円
総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	土木費	教育費	公債費	その他
7.1億円	11.1億円	3.7億円	3.1億円	5.0億円	6.9億円	4.9億円	4.6億円

令和4年度  
46.4億円

議会定例会3月会議は、7日から16日までの会期で開催し、令和5年度の予算審査では、特別会計を含む7会計の予算を決定しました。  
また、青木町長と吉野教育長が令和5年度の方針を表明し、一般質問では8名の議員が町政課題・教育課題などについて、町の考えをいただきました。

## 定例会3月会議

## 議会と町民、共に考える予算

町の事業に対する町民の声は様々です。議員と一緒に考え、満足度の高い事業へ！

## 暮らし

### くらし

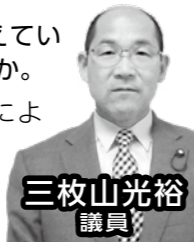
- 公共交通事業 776万円
- 行政区地域課題対応事業(地域活力推進費) 500万円
- 町道整備(樋の沢大佐線、衣関線、桜森線) 4532万円
- 町道、橋梁長寿命化事業 9500万円
- バリアフリー住宅改修補助金 50万円
- 後付け急発進抑制装置設置補助金 30万円
- 一関地区広域行政組合分担金・負担金(環境衛生分) 1億5306万円



満員御礼コミュニティバス

### ゴミの減量は

- 問 広域行政組合の負担金は増えていますが、ごみの量は減っているのか。
- 答 ごみの排出量は人口減などにより、横ばいか若干減っている。負担金の増額は、新焼却施設等の建設費増による。



三枚山光裕 議員



不燃ゴミ、プラ収集日、正しい分別を



改修された月舘1号線



可燃ゴミの中には、リサイクルできるものが、沢山含まれています。正しく分別しゴミの減量化を実現しましょう。

阿部慶元さん(平泉字花立)

### 地域課題へ対応を

- 問 地域活力推進費の活用は。
- 答 地域課題を検証し、優先度、緊急性を考慮して決めていく。



阿部圭三 議員

地域課題対応で、道路が改修され、安全になって良かったです。

小野寺郁子さん(長島字月舘)



町民の声

## 主な事業

### 少子・定住化対策

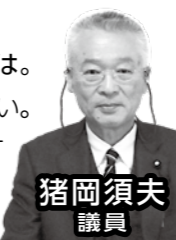
- 地域おこし協力隊活用事業 1688万円
- 起業・事業継承支援事業 100万円
- 次世代技術者養成事業(プログラミング) 1116万円
- 移住支援補助金 200万円
- 若者向け空き家住宅取得補助金 180万円
- 出産祝金 200万円
- 結婚祝金 60万円
- 出産応援金 200万円
- 子育て応援金 200万円

### 子育て支援

- 子育て支援センター事業 679万円
- 子育て世代包括支援センター事業 353万円
- 放課後児童対策事業 2252万円

### 単身移住者へ補助を

- 問 単身移住者への賃貸料補助の考えは。
- 答 賃貸料補助等の協議は行っていない。現状は、単身者が移住できるアパート等が少ないことが課題である。



猪岡須夫 議員



希望者全員が入所したすぎのこ児童クラブ

単身移住者の入居先がなく、困っているという話を耳にします。速やかに対応する必要があります。

石神正和さん(平泉字倉町)



町民の声



町民の声

地域の魅力を発掘する力に期待しています。

千葉君忠さん(平泉字伽羅葉)

地域おこし協力隊の  
新井泰雄さん、河野綾華さん  
山内彩さん



### 地域おこし事業は

- 問 地域おこし協力隊への事業委託は。
- 答 特産品開発による農業振興、デジタル化支援事業への委託業務を予定している。毎年度3名増員し、3年間で最大9名に業務委託したい。



稲葉 正 議員

※地域おこし協力隊…都市地域から人口減少等の進行が著しい地域に移住して、「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組み。

# 産 業

## 産 業

- 中山間地域等直接支払交付金制度事業 6861万円
- 多面的機能支払交付金事業 4878万円
- 農業関係補助金（新規）
  - ・ 園芸産地形成推進補助金 146万円
  - ・ 営農継続農業機械支援補助金 150万円
  - ・ 収入保険加入促進補助金 160万円
- 観光客受け入れ態勢整備補助金 158万円

## にぎわい創出事業の支援は

問 中尊寺通りにぎわい創出事業補助金は終了したのか。

答 平成27年度～令和4年度まで事業補助を行った。補助金は交付しないが、人的な支援を引き続き行う。



佐藤孝悟  
議員

## 町民の声



地元を元気にするため、ホコ天まつりは重要です。

小野寺潤子さん（平泉字泉屋）

## 町民の声



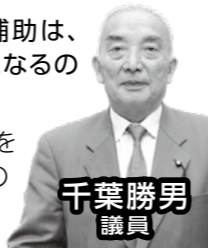
青色申告の手続きは複雑で大変だと思います。

千葉和秋さん（平泉字泉屋）

## 畜産農家への支援は

問 肥育素牛の地域内保留対策補助は、1件の農家を対象とする補助金になるのではないのか。

答 地域内の繁殖農家からの購入を条件としている。畜産農家全体の支援と考えている。



千葉勝男  
議員

## 町民の声



牛の繁殖農家も、後継者不足の課題があり、肥料代、飼料代高騰への支援を望みます。

千葉徳一さん（平泉字熊野前）

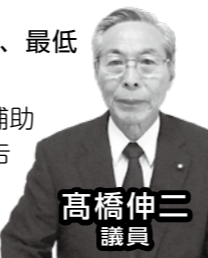


賑わうホコ天まつり

## 収入保険補助は平等か

問 白色申告者が補助を受けるには、最低2年が必要ではないか。

答 補助を受けられるよう対象者の補助期間を延長する。白色から青色申告への切り替えを働きかける。



高橋伸三  
議員

## 教 育

- 学習交流施設指定管理料 5647万円
- 特別支援教育支援員（12人）2119万円
- 英語教育の充実
  - ・ 外国語指導助手2名の配置 1016万円
  - ・ 英語教育推進員 310万円
  - ・ 中学生英語検定料無料化 165万円
- 史跡保存修理事業（無量光院跡、観自在王院跡）7089万円



撤去予定の志羅山児童館の遊具

## 遊具施設の整備を

問 廃止される志羅山児童館の遊具について、移設の考えはないか。

答 遊具の利用は少なく、老朽化している。移設には、経費がかかるため撤去する。子どもの遊び場については、今後検討する。



大友仁子  
議員

## 町民の声



貴重な遺物の保管が気になります。町内空家の活用も一案かと思えます。

春日谷初男さん（長島字田頭）



観自在王院跡の発掘作業

## 町民の声



町民の意見も聴いて欲しい。早急に子どもの遊び場を造って欲しいと切に願います。

加藤あつ子さん（平泉字志羅山）

# 防災・安全

## 防災・安全

- 平泉分署救急車更新事業 3800万円
- 防災重点ため池ハザードマップ作成事業 520万円



荒廃している花立ため池

## 町民の声



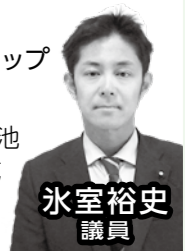
花立ため池はきれいな池であってほしい。町はしっかり管理をするべきです。

佐々木康司さん（平泉字花立）

## 防災関連マップは一括で

問 ため池ハザードマップを、既存の防災マップと合わせて作成することはできないか。

答 次期防災マップの更新に合わせて、ため池ハザードマップと一つのものとして作成したいと考える。



氷室裕史  
議員

## 令和5年度会計別予算

会 計	予 算 額
一 般 会 計	47億6600万円
国民健康保険会計	8億1530万円
後期高齢者医療会計	9720万円
健康福祉交流館会計	8380万円
町 営 駐 車 場 会 計	6320万円
下 水 道 事 業 会 計	
資本的	2億7535万円
収益的	2億1307万円
水 道 事 業 会 計	
資本的	2億9244万円
収益的	3億8330万円
合 計	69億8965万円

※単位未満を四捨五入しています。

## コスト意識を持った政策立案を

3月13日、14日に予算特別委員会を開催し、すべての会計予算について、審査意見を付して、可決すべきものと決定しました。



眞筆光幸  
議員

- 1 物価対策にとどまらず、コスト意識をもって経費節減に努められたい。
- 2 定住化促進及び子育て環境の充実に努められたい。
- 3 農業政策の立案と推進には、支援が届く事業を進められたい。
- 4 世界遺産、日本農業遺産などを活用した観光客の受け入れ態勢の構築を。
- 5 健康福祉交流館は「施設活性化調査」を踏まえ、健全経営を。

議案第17号

## 無駄のない予算編成を

**問** 防犯灯設置等の工事費が減額となっている。町民からはまだまだ設置希望があると認識しているが、見解を伺う。

**答** 防犯協会等との検討の上、必要な設置は行っていると認識している。その他の必要な設置箇所については、令和5年度以降に各地域等の要望を聞き設置していきたい。



令和4年度は、防犯灯を15基設置

**問** 結果的に基金への繰戻しが多額になっている。計上していた予算は適切であったのか。

**答** 子育て世帯への臨時給付金など確実に行き渡らせるため、元々高めに設定していた部分があった。

議案第6号・7号・発議第1号

## 期末手当等の引き上げ

- ①特別職・議員の期末手当の引き上げ  
3.2月→3.3月へ（0.1月引き上げ）
- ②会計年度任用職員の勤勉手当引き上げ  
2.45月→2.55月へ（0.1月引き上げ）  
施行は、令和5年4月1日。

### 令和4年度補正予算

会 計	補 正 額	補正後予算額
一 般 会 計 (第8号)	456万円	52億7596万円
一 般 会 計 (第9号)	2億4349万円	50億3247万円
国民健康保険会計 (第3号)	△1010万円	8億810万円
後期高齢者医療会計 (第2号)	△399万円	9316万円
健康福祉交流館会計 (第3号)	△116万円	9355万円
町営駐車場会計 (第4号)	230万円	6071万円
下水道事業会計 (第2号)	収益的支出 △732万円	2億7817万円
水道事業会計 (第3号)	収益的支出 235万円	2億8837万円
	資本的収入 △6861万円	2億7237万円

※単位未満を四捨五入しています。

### 令和5年度補正予算

会 計	補 正 額	補正後予算額
一 般 会 計 (第1号)	1億125万円	48億6725万円

議案第15号

## 中尊寺通り整備完成 県道から町道へ 町と両輪で管理を

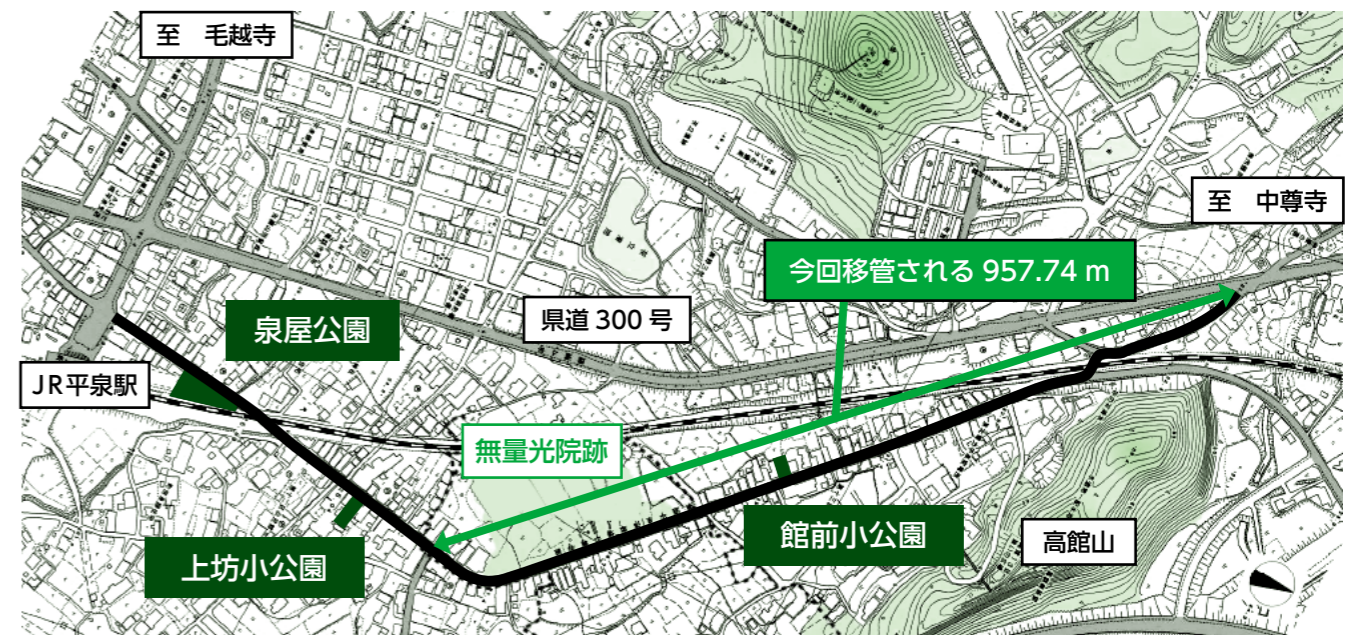
岩手県による中尊寺通りの整備事業が完了し、一部が町へ移管されます。

**問** 今後の街路樹の管理は。

**答** 基本的には町道として町が管理するが、地域の皆さんの協力も必要と考える。



歩車共存となった中尊寺通り



岩手県整備【一般県道平泉停車場中尊寺線（通称 中尊寺通り）】  
全体事業費：約35億円  
事業内容：道路改良1.4km、小公園3カ所、踏切拡幅2カ所など

反対です

討論

賛成です

### 説明は十分だったのか

猪岡 須夫 議員

国から高齢職員の昇給抑制等が求められている。また、これに関して、町議会への説明も不足していると思われる。

議案第24号

### 全体を見通した予算である

升沢 博子 議員

5年度一般会計予算は町全体の福祉を考えたものである。事業経費を手堅く見積り、農業支援、人口減少対策にも効果が期待される。

### 十分に審議されたものである

三枚山光裕 議員

予算特別委員会において慎重審議を尽くし、意見書を付したものである。この予算案は賛成すべきである。

### 福祉に還元を

猪岡 須夫 議員

議員の期末手当の上昇分を、子育てをはじめとした様々な福祉に充てるべきであると考え、反対とする。

発議第1号

### 働きに見合った対価を

高橋 伸二 議員

一般職も特別職も対価は支払われるべきであり、また、それに見合った働きをすることも当然である。

議案第4号

## 放射線対策室を廃止

**問** 今後の放射線測定の業務は。

**答** 放射線測定は今後、町民福祉課で行う。農産物や学校給食材料については、これまでどおり農林振興課、教育委員会で測定する。



農産物検査の様子

# ここが聞きたい!

一般質問で町の考えを問う

一般質問は、議員が執行機関である町長などに対し、事業の状況や将来の方針などの諸問題について問うものです。  
平泉町では一人60分以内の制限時間で質問を行います。

## P10 真筈光幸 議員

① 束稲山麓地域日本農業遺産登録後の活用策

## P11 高橋伸二 議員

① 学校の働き方改革の取り組み状況  
② 平泉町立学校職員安全衛生管理規程の制定

## P12 氷室裕史 議員

① 学校教育の現状と今後の展望

## P13 大友仁子 議員

① 安心して安全な子育て環境の整備  
② 奨学金の代理返還制度の周知

## P14 阿部圭二 議員

① 人口減少対策  
② パートナーシップ制度の導入

## P15 猪岡須夫 議員

① まち・ひと・しごと創生推進基金活用事業  
② 平泉町交通施策  
③ 健康福祉交流館運営  
④ 小中学校でのICT整備と運用

## P16 升沢博子 議員

① 子育て支援

## P17 三枚山光裕 議員

① 町長施政方針演説と新年度予算案  
② 教育行政方針演説

※掲載している内容は、質問者自身が要約し広報委員が校正したものです。  
※議会ホームページでご覧いただけます。



## 議会防災訓練

### 有事の心構えを



平泉町議会では、大規模災害等発生時の各議員の役割、議会の機能を確認し、議員の防災意識の高揚につなげるため、3月11日に防災訓練を実施しました。

令和3年3月に導入したタブレットを使用し、各議員から安否確認、被害状況を事務局へ連絡した後、「災害対策連絡会議」をオンラインで開催し、非常時におけるICT技術を導入した会議開催について検証しました。  
改めて、有事への備えの大切さを議員一同実感しました。

## 議長交際費を公表します

1月分 3万1000円  
(元議員への花環代、懇談会会費など)  
2月分 8000円 (交流会会費)  
3月分 1万4000円  
(企業懇談会会費、中尊寺通りの完成を祝う会 祝賀会会費など)  
※詳細はHPをご覧ください。



## 議会定例会6月会議のお知らせ

6月8日(木)～15日(木)  
開催予定

※本会議はインターネットで生中継しています。



## 議案内容と審議結果

賛否のあった議案以外は全員賛成で可決しています。

### 議会定例会3月会議 (3月7日～16日)

議案番号	議案及び内容	関連ページ
条例制定及び一部改正		
第2号	個人情報保護法施行条例 (法律の改正による条例制定)	
第3号	個人情報保護審査会条例 (審査会設置のための条例制定)	
第4号	課設置条例 (放射線対策室の廃止に伴う改正)	6
第5号	議員及び町長の選挙運動の公費負担に関する条例 (選挙運動の公営費用の限度額引き上げに伴う改正)	
第6号	特別職の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例 (期末手当を引き上げる (0.1月分) 改正)	7
第7号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例 (勤勉手当を引き上げる (0.1月分) 改正)	7
第8号	家庭的保育事業等の設備及び運営基準を定める条例 (安全計画の策定義務化など国の基準の改正を踏まえた改正)	
第9号	町立児童館設置条例を廃止する条例 (福祉教育施設の充実及び利用者の減少により児童館を廃止する)	
第10号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営基準を定める条例 (安全計画の策定義務化など国の基準の改正を踏まえた改正)	
第11号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準を定める条例 (子ども家庭庁設置法の施行等に伴う改正)	
第12号	子ども・子育て会議条例 (子ども家庭庁設置法の施行等に伴う改正)	
第13号	国民健康保険条例 (出産一時金の額の改正)	
事件案件		
第14号	辺地に係る総合整備計画の変更 (戸内地区の消火栓新設工事費の増額)	
第15号	町道の路線認定 (若手県から「平泉停車場中尊寺線」の一部移管に伴う町道認定)	6
第16号	若手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び組合規約の一部変更の協議	

### 議会定例会1月第2回会議 (1月27日)

議案番号	議案及び内容	関連ページ
令和4年度補正予算		
第1号	一般会計補正予算 (第8号) (出産応援金、子育て応援金など)	7

議案	賛否のあった議題 (賛成:○、反対:×)													賛成	反対	採決結果
	大友仁子	稲葉正	猪岡須夫	氷室裕史	阿部圭二	三枚山光裕	真筈光幸	高橋伸二	佐藤孝悟	千葉勝男	升沢博子	高橋拓生				
議案第6号 特別職の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例改正	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
議案第17号 令和4年度一般会計補正予算 (第9号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
議案第20号 令和4年度健康福祉交流館会計補正予算 (第3号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
議案第24号 令和5年度平泉町一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
議案第27号 令和5年度平泉町健康福祉交流館会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
発議第1号 議員報酬及び費用弁償等に関する条例改正	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決

※採決に議長は参加していません。



議員 幸光 眞 眞 眞

# 日本農業遺産認定後の活用策は

答 関係機関と連携する

**問** 今回、東稲山麓地域が認定されたことを、日本農業遺産の位置づけとともに、住民に周知すべきではないか。

**農林振興課長** 今後、住民に周知を図っていききたい。

**問** 今後のまちづくりに、どのように活用するのか。

**町長** 平泉を大きくPRできるので、関係機関と連携し、観光客の誘致に活かす。

**問** 認定となったことを告げる懸垂幕など、お祝いムードを演出していない等、住民への周知が不十分でないか。

**農林振興課長** 2市1町と県南振興局とで、作成を検討している。

# 遺産活用で平泉学の深化を

答 教材として活用したい

**問** 一ノ関駅に降りれば大槻三賢人を目にするように、平泉の誇る遺産をPRする工夫が必要ではないか。

**農林振興課長** 今後は日本農業遺産認定の、のぼり旗をいろいろな場所に掲示したい。

**問** 新たなブランドとしてのロゴマークの検討はどうか。

**農林振興課長** 東稲山麓を印象付けるロゴマークを検討している。完成後は、2市1町の商品に貼るラベルとして、PRしていきたい。

**問** 認定後の取り組みが大事である。地域の活性化事業の展開をどう図っていくのか。

**町長** 大きな課題であり、地域の産業やコロナ後の観光施策も含め、地域の活性化のために努力する。



地域を守る住民の連帯



東稲山麓地域日本農業遺産認定

**問** 世界かんがい施設遺産や、日本農業遺産は文化遺産とは違った意味で、先人の暮らしや願いを思うことのできる良い教材であり、学習に取り入れるべきではないか。

**教育長** 日本農業遺産認定は、子どもたちにも大変いい教材になると考える。

生母・長島・舞川地区は北上川東岸の一衣帯水として、同じ歴史を刻んできた。遺産認定はゴールではない。この地域の活性化のため各自治体の、枠を越えた取り組みを望みたい。

議員のひとりごと



議員 二 伸 橋 高

# 教職員の働き方改革は

答 未だ看過できない状況にある

**問** コロナ禍で、苦勞しながら子どもたちの学びを提供している先生方の、長時間勤務解消に向けた取り組みの現状は。

**教育長** 教職員の時間、間外在校等時間への減少に向け、学校における「働き方改革方針」を策定し取り組み、減少傾向にはあるものの、未だ看過できない状況にある。

**問** 小・中学校では独自の課題や日常の問題点を、校長がリーダーとなって、忌憚なく話し合える時間、場というのは設けられているのか。

**教育次長** 各学校とも年3回程度話し合いが行われ、課題解決に向けて学校全体で検討している。

**問** 服務監督権者である教育委員会や学校長が、目的意識をもって残業時間を減らすための「助言、指導、支援」をすべきと思うが、どのように対応しているか。

**教育次長** 勤務時間に対する意

教育次長

識つくと、学校の実情に合わせた業務改善に、取り組んでいる。教職員が効果を確実に実感できるよう、積極的に指導助言していく。

**問** 残業時間数を減らす取り組みは、これまで行き届かなかった所を是正することが必要ではないか。

**教育長** 教育の質の確保・向上を図るためにも、重要な課題ととらえ、引き続き取り組み、「学校運営協議会」の活用も検討する。



先生は部活の指導にも汗を流す

# 安全衛生管理規程の策定は

答 6年度までに制定する

設置し、「教職員の健康保持増進」、「教職員の長時間勤務の縮減」に関する事など、その都度、検討・審議している。

**問** 現行の「教職員衛生委員会設置要綱」は、労働安全衛生法が定める要件を具備せず、改善すべき内容と課題があるのではないか。

**教育長** 現要綱は、委員会構成員を規定するなどの必要な定めが欠けている。教職員の健康障害防止、衛生に関する取り組みは、労使が一体となって行う必要があり、「要綱」の改善を図る。

**問** 「衛生委員会」の在り方の改善は、令和5年度内に素案を取りまとめ、6年度から施行することとなるのか。

平泉には県内でもいち早く設置された「学校運営協議会」組織がある。家庭と地域、行政が三位一体で子どもたちの学びづくりが求められる。

議員のひとりごと

**教育長** 「改善を図る」意思があれば、規程の施行日を待たずしても改善できる事柄があるのではないかと考えている。

**教育長** 「安全衛生管理規程」の整備は、令和6年4月の規程制定と施行を目指すとしている。



議員 室裕史



# 不登校へのフォロー体制は

## 答 家庭訪問等で対応している

**問** 不登校児・生徒の勉強面以外の協調性、社会性を育てる教育体制はどのようになっているか。

**教育長**

不登校には様々な要因と段階があり、決まった対応策ではなく、子どもに置かれた状況や性格・特性に応じた対応をしている。例えば登校がづらい子どもでも、家から出られるようにできる範囲で、休日

**問** 不登校状態の児童・生徒の再登校への取り組みには、どのようなものがあるか。

**教育長**

家庭と学校との



リテラシー教育を重点的に

繋がりや途絶えさせないよう、密な連絡を取るようになっている。家庭訪問が可能であれば、担任が中心となり対応している。

また、4月からは学習交流施設工ピカに適応支援教室を開所し、登校できない児童・生徒の居場所を作り、そこには学校とは異なる支援員を配置し、再登校に向けた支援や相談を行っている。

**問**

平泉小学校いじめ防止基本方針を、教育力リキュラムに導入してはどうか。

**教育長**

いじめ防止基本方針を、直接的に授業の力リキュラムに組み込むことはせず、主に道徳の授業でいじめに関する授業は行っている。また、様々な力リキュラムの中に、いじめ防止のための教育・指導が毎年組み込まれている。

**問**

各校のいじめ防止基本方針を保護者に配布するなど、当町のいじめに対する強い姿勢を、保護者に強く示してはどうか。

**教育長**

情報モラル教育を各学校の学年に応じて行っている。特に平泉小学校では昨年11月に総合教育センターから講師を招き、より専門的なリテラシー教育を行い、

参観日には親子で情報

# いじめ防止基本方針の活用は

## 答 指導に組み込んでいる

**教育長**

かつて、PTA総会などで各校の取り組み等を紹介したことはあった。既に取り組んでいる学校もあるが、年度当初に保護者にも周知していきたい。

**問**

教育におけるICT機器の活用が活発になりつつあるが、リスクを含めたネットリテラシー教育の現状は。

義務教育期間は、将来的に社会に適応するための土台作りの時間だと思います。フォローと同時に時には厳しく接することも必要ではないでしょうか。

議員のひとりごと

※ネットリテラシーとは…インターネットの情報や事象を正しく理解し、適切に判断、運用ができる能力。



議員 大友仁子



# 安心、安全な子育て環境の整備を

## 答 今後とも子育て支援に取り組む

**問** 保育所に病児・病後児保育などのサポート体制を構築する考えはないか。

**町長**

子どもが病気で仕事の両立は、子育てで世帯の大きな悩みと捉えている。現在、平泉保育所では、体調不良児対応型を実施しているが、病児・病後児対応型は、専用施設などが必要となり、

構築は難しい。

**問**

園児が使用したオムツを保育所で回収する考えはないか。

**町長**

本年1月に厚生労働省より、保育所において使用済みオムツ処分を行うことを推奨する旨の通知があった。当町でも、保護者への負担軽減や衛生面、保育士の負担軽減にもつながることから、令和5年度より、保育所で処分する方向で取り組む。

**問**

働く親のために、放課後児童クラブでの毎週土曜日の完全開所を望むが見解は。



更なる子育て支援を

**町長**

現在、土曜日の開所は、すぎのこクラブでは、4人以上の申し込みがあった場合、たばしね

クラブでは、要望があれば開所している。今後は、必要な指導員の確保の取り組みを進め、土曜日の開所は、人数制限なしで、取り組む。

**問**

若者が夢と希望を持って生きられる環境を整えることが大切である。奨学金の代理返還制度とは、奨学金を受けていた社員に対し、企業が返還額の一部または全額を支給する制度である。奨学金の返済に悩む若者の支援、人材不足に悩む地元企業の支援、地域の活性化にもつながる。企業に対し、奨学金の代理返還制度を周知し、学生と企業と地域社会の活性化を図ることは、大変に有意義と考えるが見解は。

**問**

町内企業に限らず、近隣の自治体とも連携を図り、企業に周知し、若者が都会へ流出する歯止めになると考えるが見解は。

**課長**

非常に有効な施策と考える。企業との懇談を通して、調査、研究をしていく。

**町長**

この取り組みは、奨学金の返済の経済的・精神的な負担を軽減し、安心して働くことのできる環境を整備し、優秀な人材の確保と定着につながる有意義な取り組みである。関係各所と連携し、周知を図り

奨学金の代理返還制度は、支援を受けた額の所得税が非課税となり企業側も法人税の減額も見込まれる。大いに周知して頂きたい。

議員のひとりごと



阿部圭二議員

# 移住者の住宅・生活補助は

## 答 子育て世帯は加算して支援

**問** 人口減少対策での移住者の住宅や生活補助は。

**町長** 移住者が空き家を取得し、改修する際に子育て世帯の場合は、加算して支援している。また、今年度からは町営住宅を活用した「お試し居住体験事業」で移住を促進していく。

**問** 保育料や学校給食費の無償化は少

**町長** 学校給食費の無償化は少子化対策への有効な方法であるが、財政負担が課題である。また、今年度から県では、3歳児以降の保育料無償化の方針を打ち出し、町でも無償化範囲を広げる準備をしている。

**問** 就学援助を高

校や、大学まで拡充させるべきではないか。

**町長** 町として就学援助を高校や大学へ拡充する考えはないが、育英資金については、社会情勢を見ながら制度の充実について検証していきたい。経済的な援助が必要な学生には、高等学校等就学支援金や返済

不要の高校生等奨学給付金制度がある。

**問** ひとり親世帯への定額支援をすべきではないか。

**町長** 「ひとり親家庭のための支援策ガイドブック」を活用し、相談者に寄り添える支援をしていく。

# パートナースhip制度の導入は

## 答 県の指針を参考に検討

**問** 昨年一関市で導入した<sup>※1</sup>パートナーシップ制度が全国的にも広がっている。平泉町でも導入すべきではないか。

**町長** 現在、岩手県では市町村がパートナーシップ制度を導入するための参

考となる指針を策定中である。指針が3月中旬に示され、その内容を踏まえながら検討していく。また、男女共同参画推進委員会で<sup>※2</sup> LGB

ひとり親世帯の収入は少ない。利用できる制度を知らない人が多くいるようです。足りない制度は町で作ってもらおう。

**議員のひとりごと**

- ※1 「パートナーシップ制度」とは… 同性婚が法的に認められていない日本において、自治体が独自にLGBTQ+のカップルに対して「結婚に相当する関係」の証明書を発行し、様々なサービスや配慮を受けやすくする制度。
- ※2 「LGBTQ+」とは… 同性愛者、両性愛者、また、自身の性自認や性的指向が定まっていない状態の方。



ひとり親のガイドブックの普及を

# 健康福祉交流館の運営は

## 答 経営健全化に向け取り組む

**問** 令和2・3年度決算及び、令和4年度予算で一般会計から1億2000万円超の繰り入れをしているが考えは。

**町長** 入館者の減少、施設の老朽化、燃料、光熱水費等の支出増加による繰入金金の増額である。今年度は、機械設備の更新で例年以上に一般会計からの繰り入れが増加した。

**問** 今後も財政調整基金から、これまでと同様な支出を続けるのか。

**町長** 改善のため、施設の活性化に向けた調査を委託し、分析をしている。検証により、繰入金の抑制と経営健全化に向け取り組む。

**問** 2000万円の事業費で外部に施設の運営とその将来について、各種調査を委託実施したが、アンケートはどのよう

に実施されたのか。



経営健全化は図られるのか

**問** 町民福祉課 300人に郵送し、148人から回答があった。6割がこの1年以内に利用せず、施設実利用の90人からは、3分の2がほぼ毎日か、週に1回以上利用しているとの回答を得た。

**問** 温泉源泉の有者は誰か。

**町民福祉課長** 町と企業が半分ずつ所有している。

**問** コミュニティバスの停留所整備は、

バス停の標準を作成し、今後設置するが、待合所設置の財政負担は困難である。

**問** コミュニティバスの増便の可能性及び、町役場に停留所設置の考えは。

# 交通施策の改善策は

## 答 現行の運行を維持する

**問** コミュニティバスの停留所整備は、

バス停の標準を作成し、今後設置するが、待合所設置の財政負担は困難である。

**町長** バス停の標準を作成し、今後設置するが、待合所設置の財政負担は困難である。

**問** コミュニティバスの増便の可能性及び、町役場に停留所設置の考えは。



新しくなった停留所標識

新しくなる停留所

**まちづくり推進課長** 公共交通を提供しているが、長続きしないとの結果が各地で出ている。停留所の新設置や増便については、予算的にも現状の運行が望ましい。

**その他の質問**  
・まち・ひと・しごと創生推進基金活用事業  
・小・中学校でのICT整備と運用

初任給からの若い職員層の待遇改善が持続的に続くことが、どのように地域の活性化に結びつくのか。20人台の出生、「超」少子高齢化の局面を支える職員の熱を、どう見守るのか。

**議員のひとりごと**



議員 博子 沢 升

## 子ども政策の一元化を

### 答 子ども家庭センターを開設



**問** 国が子ども家庭センターを創設することに伴い、当町も母子保健と児童福祉、それぞれ行っていた業務の一元化を図ることになるのか。

**町長** 令和6年度に「子ども家庭センター」を開設する。これは妊産婦、乳幼児の相談・支援だけではなく、虐待や貧困など困難を抱える家庭の相談などにも当たり、子育て世代全般を支援する役割を担う。

**問** 子ども家庭センター開設のためには、職員配置も含まれた機構改革も必要になるが、その取り組みは。

**町長** 新設に向けて組織改編の準備を令和5年度に行う。社会福祉士や児童福祉司などの専門職の

配置と職員体制、設置場所を早期に検討する。

**問** 幼稚園・保育所の複合施設としているが、幼稚園児の減少傾向が続いており、教育活動に無理が生じないか。

**町民福祉課長** 共働き世代が増加する中、幼稚園児の減少はあるが、現状では幼稚園・保育所との合同活動を実施しながら、施設使用を超えた幼児教育を実施していく。

令和6年に設置する「子ども家庭センター」が専門職による子どもの健康、福祉の総合的な相談窓口となるよう期待する。

議員のひとりごと



発達段階ごとの乳幼児健診

**問** 発達障がいがある児童・生徒の9%に見られるといわれている。早い段階の支援で障がいに至らない場合もあるのではないかと。乳幼児健診の役割は。

**保健センター長** 1歳6か月、2歳6か月、3歳6か月

と集団検診を行っている。内科、歯科に加えて発育、発達、生活リズム、食事などを確認、支援が必要な子どもについては専門職の相談に繋がっている。

**問** スムーズな就学に繋げるための支援は。

## 児童の発達支援への関わりは

### 答 乳幼児検診などで適切な支援へ

**保健センター長** 教育委員会と連携を図りながら、発達支援教室などのサービ

**問** 幼児健診後の子どもの成長を確認する場として、実施していた年中児教室の再開は。

**町長** 教室を通して保護者からの相談があり、発達支援教室やペアレントプログラムへの参加に繋がった。また保健師、保育士、保護者と三者で子どもの様子を共有できる機会であった。就学前からの準備と適切な支援の必要性は認識している。再開を模索していく。



議員 裕光 山 三 枚

## 補聴器への補助は

### 答 考えていない

**問** 施政方針演述では、認知症に関し「予防」と「共生」に向けた取り組みの推進」としている。認知症予防に効果がある補聴器への補助の考えは。

**町長** 補聴器による認知症予防の研究が進められている。引き続き国や県、他の自治体の動向を注視する。

**問** 過去には、エビデンスがないと答弁があった。研究結果は出ているのか。

**保健センター長** 補聴器を使用することで認知症が予防できるのかは、現在も研究が実施されている。公表などには至っていないと認識している。

**保健センター長** 直近に補助制度を導入するということは、財政的などところもあって難しいと考える。

**問** 国立長寿医療研究センターは、高齢で病気になるリスクが高いのは難聴だという。認知症でいろいろ障がいがあるのを助長させるという研究結果も出ている。老後も安心して社会生活もできるように、具体的な方向性も示せないか。

は、高齢で病気になるリスクが高いのは難聴だという。認知症でいろいろ障がいがあるのを助長させるという研究結果も出ている。老後も安心して社会生活もできるように、具体的な方向性も示せないか。

## 平和希求の発信と使命とは

### 答 平和思想を学び発信

**問** 教育行政方針では「平泉が守り育ててきた平和希求の思想を学び、深め、そして広く発信していく使命」について述べたが、その意義や考えは。

**教育長** 不安定な世界情勢の中、奥州藤原氏の平和主義、平等主義は、現代社会において、大切な示唆を与えてくれる思想と、改めて認識している。

奥州藤原氏の平和希求の思いを学び深めながら、主体的に発信しようとする姿勢の育成に努めたい。

**問** 平泉町出身の元県議会議員が「中学生の時、先生が南京事件の資料で話をした。学校の教育現場で政治的な主義主張は慎むべきだ」という発言をしていた。平和の

メモが見えないという教訓から、芯をHBから2Bに変えた。今議会は良く見えた。しかし質問中のメモで芯がよく折れた。質問席の原稿台は芯がいっぱい。

議員のひとりごと